

第19回日本禁煙科学会学術総会 in福岡 より

日本禁煙科学会認定 上級禁煙支援看護師

NPO法人禁煙ねっと石川理事 横山明美

第19回日本禁煙科学会学術総会 が11月23～24日、九州大学西新プラザに於いて開催され、遠藤理事長と参加しました。

全国から様々な職種の多数の方々が参加され、学びの大きな2日間でした。

本年総会のテーマは『無煙世代を創り出そう ― 私たちにできること ―』です。総会会長の九州大学キャンパスライフ・健康支援センター准教授の眞崎義憲先生の講演に大変衝撃を受けました。

福岡市は東京都千代田区に続いて日本で2番目に「路上喫煙を禁止する条例」を定めた最初の政令指定都市です。

しかしながら当市でも若者に加熱式タバコや電子タバコが吸われている現状が多く見られるのはファッション性の強いタバコに魅かれ移行している感もする事や、電子タバコのキッドに大麻等の違法薬物を吸引された事例も昨今話題になっているが、現状は規定が無く摘発が難しい状況である事が説明されました。

又、東京では人気のコーヒー店、スターバックスの店舗数に迫る勢いでシーシャ(水タバコ)店が急増しているそうで、2022年の調べでは石川県はシーシャを扱う店舗数は国内で20位との事、検索してみると飲食店等10件以上のシーシャを取り扱う店舗がでてきます。

子供達が気軽にタバコに手を出し易い環境はとても恐ろしい事です。私達大人が更にスピードを上げて喫煙環境整備を整える重要性を感じました。

遠藤先生は「二十歳つどいにおけるたばこアンケート結果 ～ 喫煙可能年齢での再度の禁煙啓発の重要性～」を発表され、20代から加熱式タバコを吸い始める人が増加している現在、再度喫煙の害を啓蒙する「タバコアンケート」の有用性を伝えられました。

NPO法人禁煙ねっと石川として、「子ども達がタバコと無煙になる未来」へと繋ぐ活動を継続して行く必要性を改めて強く感じました。

来年は節目となる第20回の日本禁煙科学会学術総会です。開催地は京都と発表されました。石川の地から、是非多くの仲間と参加致しましょう。

